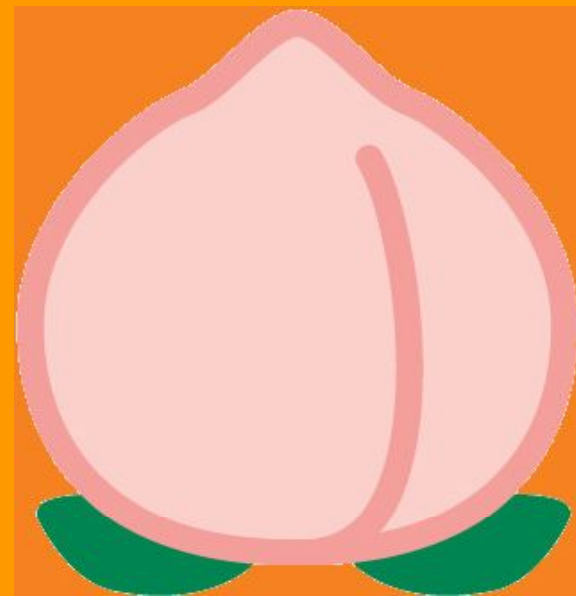


社会科副読本

わたしたちの県

4年

名前 ()



6 わたしたちの県



みなさん元気ですか。
いわき市から^{おきなわ}沖縄県の石がき市に引っこしてきましたが、どんなところなのか分からないので家族と出かけてきました。いいところがたくさんありました。気に入ったところの写真を送ります。沖縄県のもっといろいろなことを調べて、みんなに知らせたいと思います。友だちは、福島県のことをよく知らないのので、みんなも福島県のことをいろいろ調べて教えてくれるとありがたいです。お願いします。

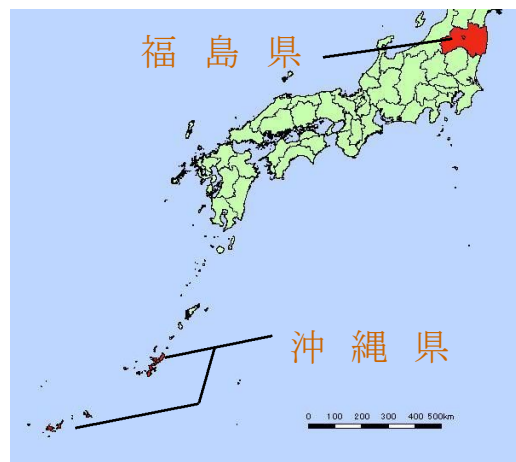


- ① ^{たけとみじま}さんごしょうの海 (竹富島)
- ② ^{しゅれいもん}守礼門 (沖縄本島)
- ③ ^{さいせいたん}日本国最西端の地 (与那国島) ^{よなぐにじま}
- ④ ^{ゆぶじま}水牛車 (由布島)
- ⑤ ^{きゅう}りゅう球ガラス





石がき市



遠くの友だちからの手紙

おきなわ
沖縄県の石がき市に転校したひろしさん

さんから、手紙と写真がとどきました。



「沖縄県は、どこにあるのかな。」

地図帳で調べてみよう。」



「とてもきれいなガラス細工があるのね。海もとてもきれい。」



「福島県のことを教えてほしいんだね。何がいいかな。」

みんなは、福島県の様子を調べてガイドブックにまとめ、ひろしさんの新しい友だちにつたえることにしました。

わたしたちが住む県と人びとのくらしの様子を、しりょうの集め方をくふうして調べてみましょう。

ひろしさんに知らせたいこと

- ・福島県内で知ってもらいたい場所はどこなのか。
- ・福島県にはどのような山や川、湖があるのか。
- ・福島県の人びとはどのような仕事をしているのか。



あなたは、遠くの友だちにどんなことを知らせたいですか。



1 県の様子

福島県にはどんなところがあるか

いわき市に住むみわさんたちは、県内で行ったことのあるところの写真や家にあるものを持ちよって、福島県にはどんなところがあるかを発表しました。

県内のどんなところに行ったことがありますか。



「家の人と海へ海水よくに行ったことがあるよ。」



「白河の親せきのおじさんが、だるまを送ってくれたよ。」



「ドライブに山へ行ったら、トマトハウスやそば畑がたくさんあったよ。」



図書室などで、きょうどのことについて書かれた本を調べる。



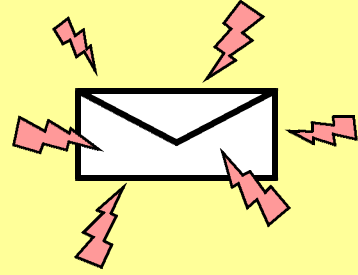
役所などに行って、係の人にたずねる。

学習コーナー

調べる

いろいろな資料のあつめかた

調べたいことがよくわかるしりょうはどれか、考えてみよう。



ほかの地いきに住む知り合いの人や学校に手紙や電子メールを書く。



写真、絵はがき、スケッチなどを集めながら、家族に聞く。



「同じ福島県でもいろいろなところがあるんだね。」

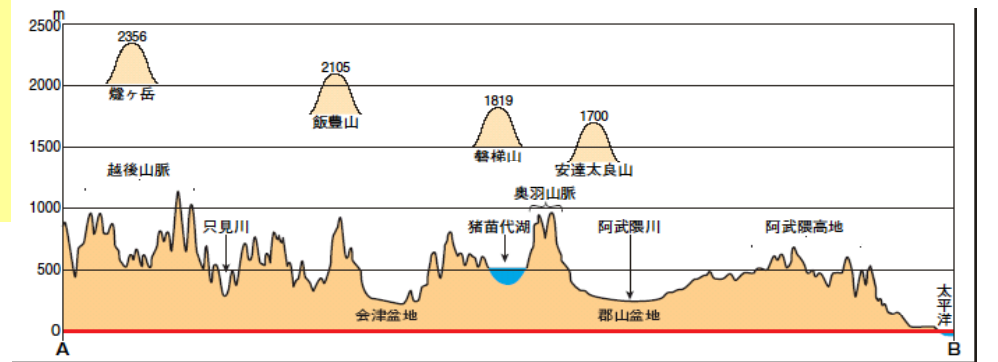
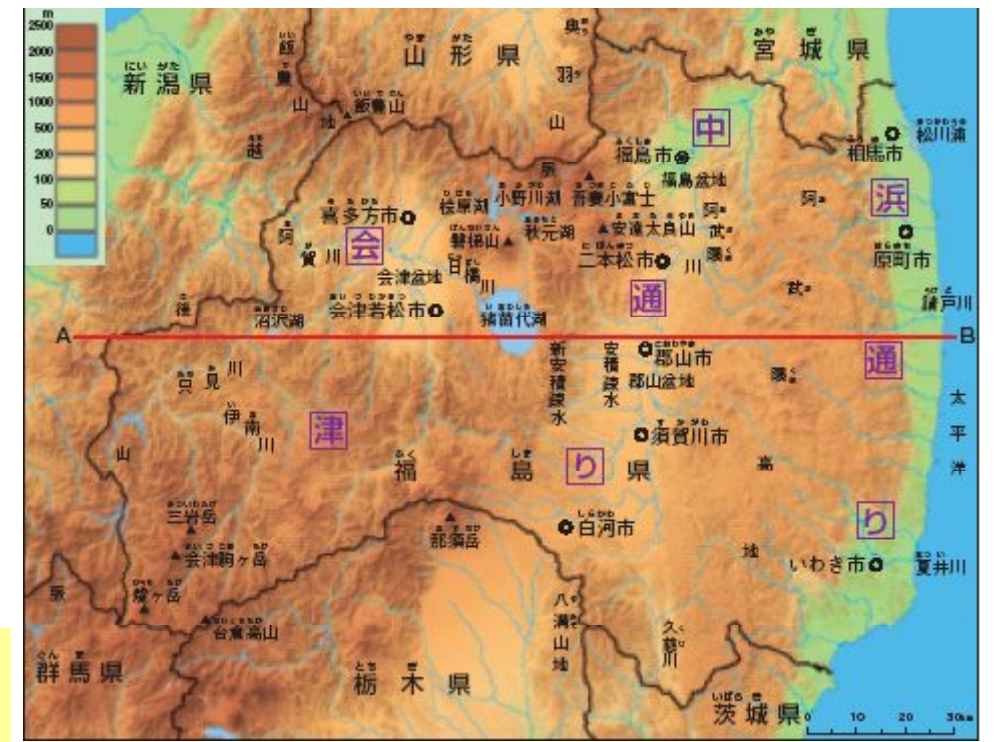
みんなは、県にはどのような地いきがあるか、地図で調べることにしました。それから、しりょうの集め方をくふうして、いろいろな土地の様子や暮らしについて調べることにしました。

わたしたちの県には、どのような地いきがあるのでしょうか。

まなび方コーナー

《地形図の見方》

- ・地形の様子をあらわした地図を地形図という。
- ・この地図では、色のちがいによって高さがあらわされている。

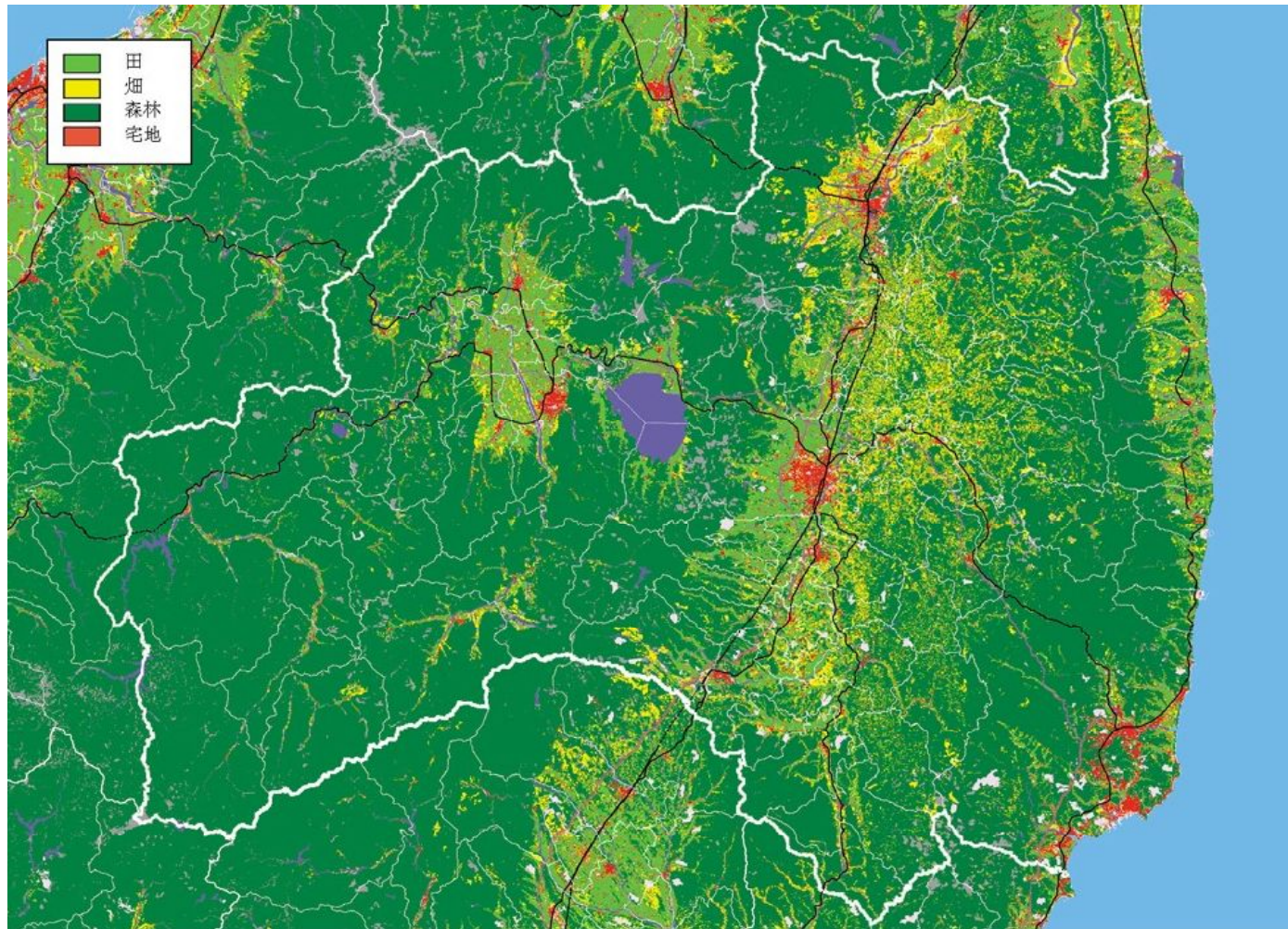


⇨ AとBを結んだ線の土地の高さ

福島県にはどのような地いきがあるか調べてみよう。

土地の様子

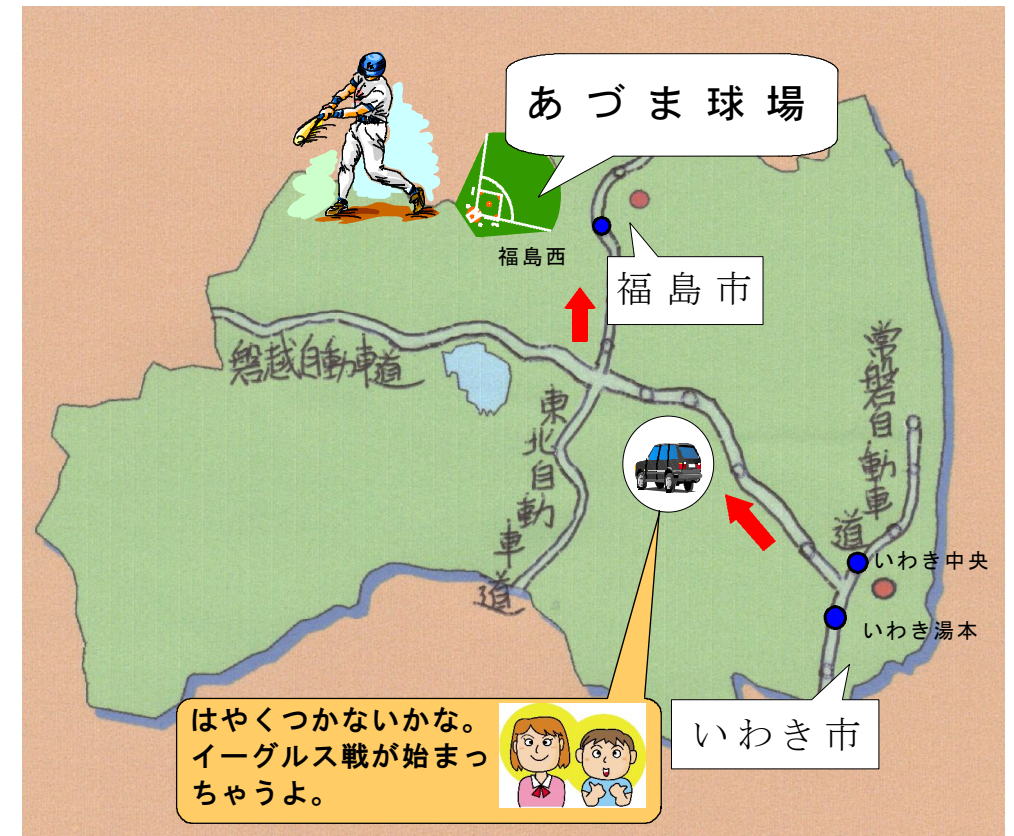
みわさんたちは、県の地図をもとにしてジグソーパズルをつくることにしました。自分たちが住んでいるいわき市の位置をたしかめ、いわき市のまわりの市町村を白地図に書いていきました。県の地形図や写真をもとに、みんなが出し合ったいろいろな土地に住む人びとの暮らしについて、話し合ってみました。



《地図旅行の遊び方》

- ① 白地図に自分たちの住んでいる市町村を書き入れる。
- ② カードに書かれた市町村名の場所を地図でさがしだし、カードを白地図にはりつける。
- ③ カードの中から、行ってみたい場所を選ぶ。
- ④ それぞれの市や場所に行くにはどうすればよいのか、県の地図をもとに話し合う。
- ⑤ それぞれの道路や鉄道路線を白地図に書きこむ。

福島県のいろいろな市町村はどのようにつながっているのでしょうか。



県内の交通の様子

みわさんたちは、県の地図を広げて、自分たちの住んでいるいわき市の位置をたしかめました。そして、県内の交通の様子を知るために、いわき市をもとにしながら地図旅行を考えました。

「ぼくたちのいわき市は、県の南東にあるね。」

「こおり山市には、鉄道や道路がいくつも集まっているね。」

「西の方に高い山やまがたくさんあるね。」

「海のそばは、平地が広がっているよ。」

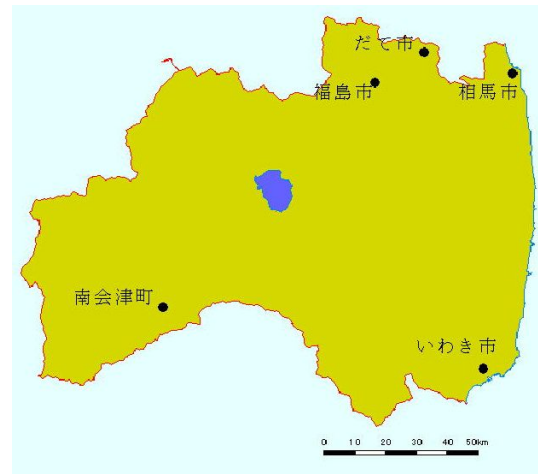
「県の真ん中に大きな湖があるよ。」

「わたしたちの町には、家が多くあるのね。」

《ジグソーパズルの作り方》

- ① 県の形を紙にうつしとり、白地図をつくる。
- ② 高い山、少し高い土地、平地というように、色をぬり分ける。
- ③ 自分のすんでいる市や町村の名前を書き入れる。
- ④ 大きな山や川、調べようとしている市町村を書き入れる。
- ⑤ 紙を台紙にはる。
- ⑥ てき当な大きさに切り分ける。

グループ	1班	2班	3班
調べる場所	そう 相 馬 市	だ 伊 達 市	みなみあいづまち 南会津町
地形の様子	・ 海ぞい	・ 平地	・ 山地
調べること	・ 土地の使われ方 ・ ぐらしや仕事の様子	・ 土地の使われ方 ・ 土地を生かすくふう	・ 土地の使われ方 ・ つくられているもの
調べる方法	・ 地図で調べる ・ 写真を集める	・ 資料集で調べる ・ 図書館で本をさがす	・ 役場に手紙を書く ・ 家にあるものを集める



調べていくうちに、計画がかわってもいいよ。そのときは、書き加えよう。



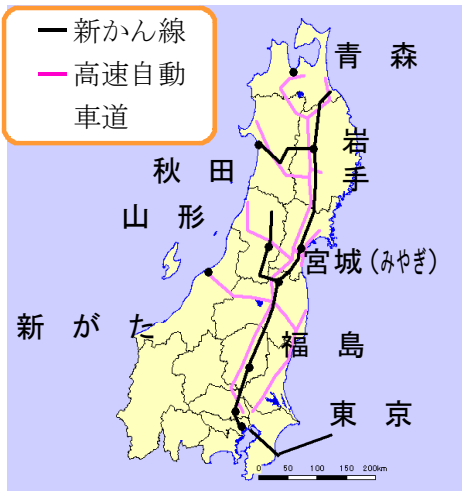
← 調べる計画



「車で出かけるときは、高速道路をよく使うよ。」

「新かん線や高速道路は、遠くの県にもつながっているよ。」

↓ 新かん線や高速道路でつながっている県や都



あなたが行きたい場所の土地やぐらしの様子を調べてみましょう。

2 (1) 海を生かしたぐらしと水産業

地図を見て、浪江町の土地の様子を調べてみましょう。

地図からわかること

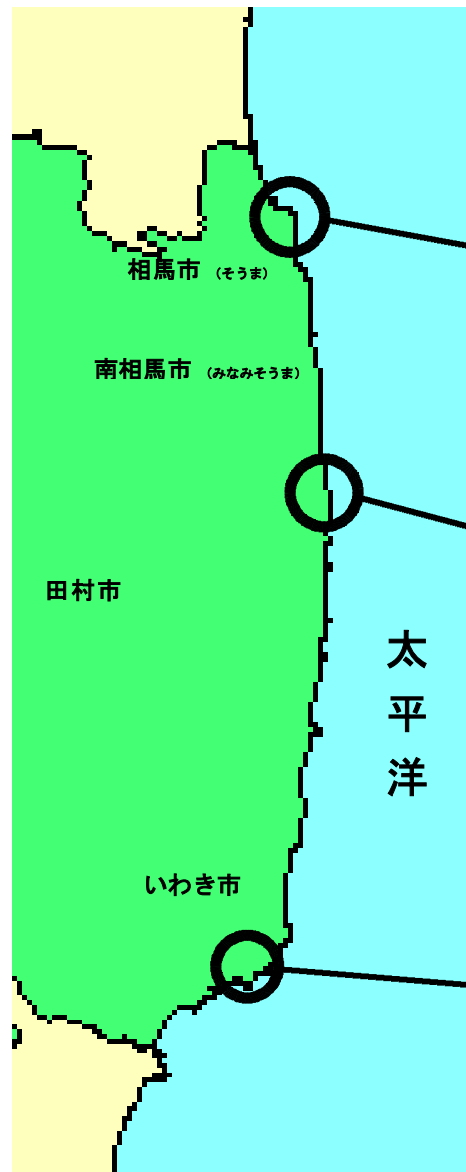
海に面した浪江町の様子を調べるには、どうしたらよいのでしょうか。あきさんたちのグループは、地図帳を開いてみました。



「福島県の海岸線って、あまりでこぼこしてないのね。」

「川が港の近くの海に流れこんでいるね。」

地図旅行をしてみると、県内のおもな市や行ってみたい場所がどのあたりにあるかがよくわかりました。みんなはグループに分かれて、行きたい県内の場所の土地やぐらしについて、調べる計画を立てました。



地図にある場所を、写真と見くらべてみましょう。



「コンクリートで人工的に港をつくっているんだね。」

あきさんたちは、人びとのくらしを知るために、浪江町の親せきに手紙を出してみることにしました。

太平洋に面した浪江町では、どのようなくらしをしているのでしょうか。

まなび方コーナー 調べる

手紙を送るとき注意

- ①あいさつをする。
- ②自分たちが、今どのような学習をしているのかを書く。
- ③自分たちが何を知りたいのかを、できるだけ詳しく書く。(知りたくなった理由を書くと、相手の人にわかりやすい。)
- ④ていねいにおねがいする。



← 浪江町 請戸漁港

浪江町では、どのような産業がさかんなのでしょう。

漁業とむすびついた町

インターネットで見たページに、海に面した浪江町が海での漁業のほかに川での漁業もさかんであるという話が出ていました。

町の沖合いには、県内でもとてもよい漁場があり、多くの魚がとれます。

主な魚貝類のとれだか

いかなご	815t
しらす	240t
かれい	170t
ほっき貝	153t
さけ	111t
ひらめ	110t
かに	30t

平成 12 年度農林水産統計



ひびきくんの話

友だちの中に、お父さんが沖合いの海で働いている人がたくさんいます。カレイやヒラメなどのほか、イワシ、サンマ、カツオなどをとってきます。ぼくの父は、川の漁協で働いています。サケをとるだけでなく、育ててもいます。



↑ うけどうおいちば 請戸魚市場の様子



《 カレイ 》



《 カニ 》



《 タコ 》



《 アイナメ 》

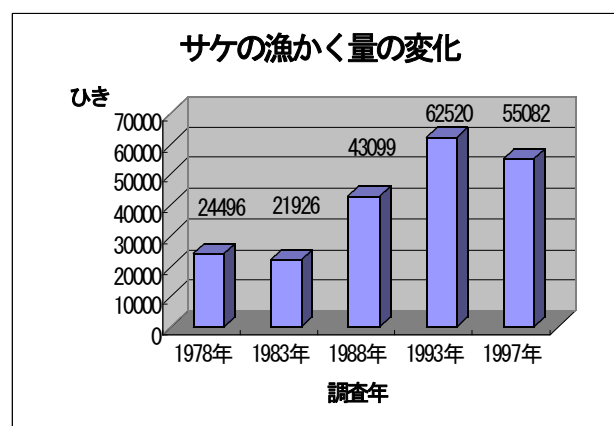
漁業を生かした町づくり

海べの人々は、漁業を生かしてどのような町づくりをしているのでしょうか。

水あげされた魚は、魚市場でせりにかけられたあと、県内やほかの地いきに生きてままトラックで運びます。高速道路の発達によって、早く遠くへ送ることができるようになりました。

町を流れる請戸川では、秋になると、たくさんのサケが川にのぼってきてサケの漁がさかんになります。

「やな」という、魚をとるためのしかけを作った「やな場」でサケをとります。



ひびきくんのお父さんの話

請戸川のサケ漁の歴史は古く、明治時代から人工的にたまごをかえして放流してきました。現在、毎年およそ1500万びきの稚魚を放流しています。そして、半分くらいがまた、請戸川にもどってきました。たくさんのサケがもどってきてほしいと願っています。



↑ うけどがわ 請戸川のやな場

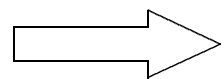
とれた魚はどこに運ばれるのだろう。





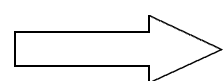
海の漁協

ヒラメまつりを



川の漁業

サケまつりを



↑ 出初め式

請戸地区では、「魚をとって、売る」という漁業だけではなく、観光漁業もとり入れています。夏の「ヒラメまつり」や秋の「サケまつり」には、東北地方や関東地方からの客だけではなく、遠くからおとずれる人もふえてきました。

漁業とともにくらす

海べの人びとは、どのようなことを願いながら、くらししているのでしょうか。

毎年1月2日には、請戸港の出初め式が行われ、大漁旗をなびかせた漁船が港を出ていきます。大漁旗には、船の安全を願う気持ちと魚がたくさんとれることをいのる気持ちがこめられています。

サケの供養塔

泉田川のやな場の近くにサケの供養塔があります。漁業としてサケをつかまえている漁師さんの思いがこめられています。



漁協の人の話

最近、外国から入ってくる魚がふえてきたことと魚の量がへってきていることが問題となってきています。そのほか、大きさが小さい魚はとらないようにするなどくふうをしています。



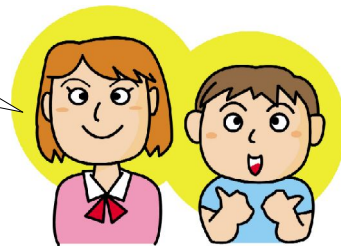
← 海岸をきれいにする活動

海とともに生活する人びとにとっては、海のごみは生活に大きなえいきょうをあたえます。夏になると、町内にある海岸に多くの海水浴客がおとずれ、ゴミも出ます。ですから、海岸をきれいにしたり、サケがもどってくる川をきれいにしたりする活動もおこなっています。



川をきれいにすることが、海をきれいにすることにもなるんだね。

← 川の近くに立てられている看板



2 (2) 平地のくらしと くだものづくり

平地の様子は、どのようになっているのでしょうか。

かじゅえん 果樹園が広がる ふくしまぼんち 福島盆地

きょうすけ 京助さんたちのグループは、先生から、ふくしまぼんち 福島盆地の北部の地いきを山の上からとった写真を見せていただきました。写真を見て、土地の様子を調べました。



「水田がたくさんあるね。」



「水田のほかに、木が森のようにしげっている場所があるよ。」